

2018年度の予算案

2月19日、市議会全員協議会が開かれ、来年度の予算案など議案の説明が行われました。震災からの復興に向けた予算が提案される一方で、いよいよ

桜町再開発や熊本城ホール整備に対し、多くの予算が提案されています。主なものをご紹介します。

震災からの復興予算

◇ 住まいの再建助成経費

18億2,510万円

- ・住宅再建に向けた利子補給
- ・仮設からの転居の際の引っ越し、入居初期費用への助成等

◇ 災害公営住宅整備

61億4,080万円

中央区、城南地区へのそれぞれ80戸整備経費など

※ 宅地被害への支援、被災マンション建て替え支援、子どもたちへの心のケアの取り組みなどの予算も計上される予定です。

◇ 新市民病院建設経費

107億3,867万円

◇ 熊本城復興経費

4億8,750万円

中心市街地再開発などの予算

◇ 桜町再開発事業

41億9,670万円

◇ 熊本城ホール整備事業

73億6,090万円

◇ シンボルプロムナード整備

1億5,300万円

◇ 熊本駅東口駅前広場整備

22億3,800万円

暮らしや福祉関連の予算

◇ 子ども医療費助成経費

※今年1月より、4歳から小学3年の自己負担額が500円から1,400円と増えましたが、12月より小学4年から6年の通院・調剤の自己負担が1,200円から700円へ減額されます。

◇ 国民健康保険料関連予算

国保料1人年平均4,400円の増。

日本共産党 市議会だより

発行：日本共産党熊本市議団

上野みえこ なすまだか 山部ひろし

熊本市中央区手取本町1-1 3階

NO.1085
2018年2月25日号
電話 328-2656
FAX 359-5047

メール：kumamsu@gamma.ocn.ne.jp

HP：共産党 熊本市議団 検索

2018年度第1回定例会

上野みえこ議員が一般質問を行います

日時：3月9日(金)午前10時～12時まで

場所：市役所議会棟5階・本会議場



*傍聴受付は、議会棟5階エレベーター前です。

*インターネットでの同時中継は、市役所HPで視聴できます。

【質問項目】

- ・熊本地震からの復興
- ・立野ダム問題
- ・国民健康保険/介護保険
- ・子ども医療費助成
- ・生活保護制度
- ・教育の充実
- ・桜町再開発/熊本城ホール など

*取り上げてほしいテーマがありましたら、党市議団までどうぞ。
☎ 328-2656

【控え室から】

PTAの研修があり、慈恵病院に設置されたこの通りのゆりかごから見えてくる子どもや親に関わる現状や課題を学ぶ学習会に参加しました。



望まない妊娠をしながらも誰にも相談できず、悩んでいる親の苦しみやどう受けとめ、解決していくのか、現場での体験を通じた報告は印象的でした。悩みの背景には、育ってきた環境の中に、経済的な貧困、人間関係をどう築いていけばいいのかわからないといった関係性の貧困、成長のきっかけになる体験や経験の貧困など、多くの要因があることが語られ、こうした課題に早期に取り組み一つの手段として、子ども食堂の立ち上げに至ったとの経緯が話されました。

慈恵病院が実施している子ども食堂の特徴は、「子ども食堂」貧しい子どもたちが来る場所「ではなく、「子どもたちのよりどころとなれる場所」「いつでも安心して来ることが出来る居場所」として、運営されていることです。おいしく栄養のある食事を提供することと合わせ、子どもたちの体験を重視したり、会話を通じて人間関係を築く力を育んだり、このよりのゆりかごから導かれた教訓がたくさん詰まっています。

子ども食堂に集う子どもたちも、将来は子を持つ親へと育っていきます。命のバトンをつないでいく過程において、子どもたちにかげがえのない愛情や安心感、居場所をどう保障していくのか？ 私たちの社会や政治に突き付けられている重要な課題だと再認識しました。

日本共産党熊本市議団「市政・暮らしに関する市民アンケート」 へのご協力ありがとうございます

切実な声が続々と届いています

市内全域に配布した、「熊本市政および暮らしに関するアンケート」の回答が続々と寄せられています。配布から一週間で約200通の回答を頂き、現在も毎日届いています。

ご協力いただいた皆様に心よりお礼申し上げます。

寄せられた切実な願いや声は、市議会に取り上げるほか、必要に応じ

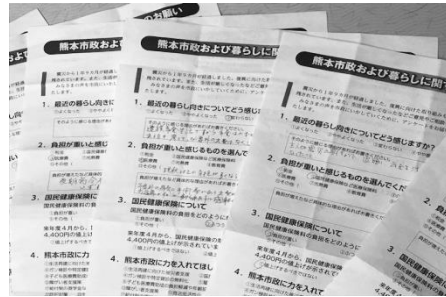
アンケートに寄せられた声

最近の暮らし向きについてどう感じますか？

- ・(自宅の全壊により) みなし仮設で現在アパートに住んでいますが、主人も引っ越しするより、このまま住み続けることを希望しています。年金暮らしの夫婦には家賃をこの先、払い続ける不安もあり、解体後の更地にかかる税金など不安ばかりです。
- ・医療費減免制度の復活をしてほしい。震災後県外に避難し、体調を壊し手術を受けた。昨年9月に熊本に帰ってきたが、まだ通院生活が続いている。
- ・(忙しすぎて) 地震後の片づけをする気力がわからない。家の修繕もまだ途中。外壁は8割がた終わったが、家のなかの修繕はもうあきらめた。(半壊世帯)
- ・バイト生活で国保料もまともに支払えず、病院に行きたくても(受診を) 考えてしまいます。
- ・食料品など物価の値上がり、年金は減額されるし、まともに暮らせない。

て国や県に対しても要請を行っていきます。

アンケートの結果は、今後も市議会だよりでお知らせしていきます。



子育てしやすい市政のために

- ・保育園に預けたいが、保育料が高額で預けられない。一時預かりも検討し、いくつかの保育園を見学、話を聞いたが、入園者優先とのこと。

まだ子どもが小さいため、週の半分働き、半分は子どもと一緒にいる時間をつくってあげたいと思っているため、仕事もできず身動き取りづらい生活を送っている。

- ・子ども医療費の自己負担が大きくなり、安心して医療機関に行けなくなりました。2歳と5歳の子がいますが、病気やけがの多い幼児の負担額を上げては重症化につながると思います。

- ・子ども食堂の充実など、貧困家庭への支援をお願いします。

熊本市政に力を入れてほしいこと

- ・桜町再開発など、市民の生活にまったく関係ない「ハコモノ」建設や道路工事より、安心して病院に行くことができる保険料の引き下げなどを真剣に考え、市民思いの行政をお願いします。
- ・(国民健康保険料が) 会社員の時に比べて年間約5万円も増え、その高さに驚きました。赤字補てん分増額など、更に値上げされないようにしてもらいたいです。

- ・被災者支援を拡充してほしい。MICEは要りません。ほかに必要なことに(予算は)使ってほしい。

- ・大西市政になって福祉の切り捨てが多いように思う。

- ・市の職員の非正規雇用が4割と聞く。市民ために全員を正規雇用にするべきではないか。

お手元にアンケートが届きましたら、ご回答のご協力をお願いいたします